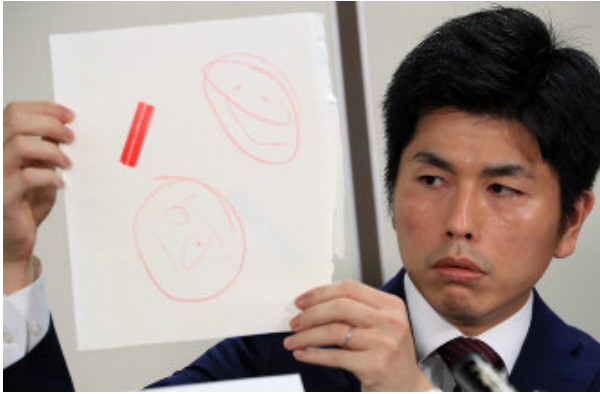


## 父の日に何度も抱きしめた 池袋事故遺族が家族の動画公開

毎日新聞 2019年7月18日 17時29分 (最終更新 7月18日 21時24分)



昨年の父の日のプレゼントとして長女からもらった絵を見せる遺族の男性＝東京・霞ヶ関の司法記者クラブで2019年7月18日午後4時半、梅村直承撮影

東京・池袋で4月、暴走した乗用車に松永真菜さん（31）と長女莉子ちゃん（3）がはねられて死亡した事故から19日で3カ月を迎えるのを前に、松永さんの夫が18日、東京都内で記者会見し、生前の莉子ちゃんが映った動画を公開した。

夫によると、動画は昨年、「父の日」の2日前の6月15日に自宅で真菜さんがスマートフォンで撮影した。似顔絵や手作りケーキを贈られた父が、「うれしいな」と言いながら莉子ちゃんを何度も抱きしめる姿などが映っている。



約3年半前に高齢ドライバーによる事故で長女を亡くした稲垣智恵美さん（49）＝さいたま市＝らが事故後に集め始めた署名は、4万2000筆になった。稲垣さんは「娘の死を『大変だな、かわいそうだな』で終わらせず、私たちは加害者にも被害者にもなりうると伝えたい」と語る。

2015年12月、同市内の交差点で、高校1年だった長女聖菜さん（当時15歳）がアクセルとブレーキを踏み間違えた当時80歳の男性の乗用車にはねられた。事故後、もう犠牲者を出したくないという思いから、聖菜さんの同級生とともに▽免許更新制度の改正▽車の技術開発▽高齢者のための交通機関の充実――を求める署名を自身のブログ（seina.jp）などで呼びかけている。

稲垣さんが最も重視するのは免許更新制度だ。75歳以上の方が免許を更新する場合、認知

昨年の「父の日」のプレゼントに、亡くなった長女、松永莉子ちゃん（左）から絵を贈られた父親。「ありがとう、うれしいな、泣きそう」とつぶやいて莉子ちゃんを抱きしめた＝遺族提供の動画から



新体操の演技をする聖菜さんの写真を見つめる稲垣智恵美さん＝さいたま市で、  
2019年6月25日午後4時18分、山本有紀撮影

機能検査と高齢者講習を受ける。稲垣さんは「基準を設け、運転可能な人と不可能な人をきちんと見極める対策が必要」と力を込め、運転技術をチェックする試験の義務化を訴える。

稲垣さんは、政府が検討方針を示した急加速を防ぐ機能を持つ車のみ運転できる限定免許制度についても不十分だと感じている。「安全機能はあくまでサポートでしかなく、安全運転サポート車なら安心と思ってしまうと本末転倒だ」と話す。【山本有紀】

---

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。画像データは（株）フォーカスシステムズの電子透かし「acuagraphy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.